

(様式1)

さが福祉サービス評価結果表

さが福祉サービス評価機関名

福祉サービス評価センターさが

施設・事業所情報

名称：多良岳福祉園	種別：障害福祉サービス 生活介護	
代表者氏名：中尾 富嗣	定員（利用人数）：60名	
所在地：佐賀県藤津郡太良町大字大浦乙1410番地2		
TEL：0954-68-3311	ホームページ： https://seibu-co.or.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：昭和63年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 佐賀西部コロニー		
職員数	常勤職員：35名	非常勤職員：3名
専門職員	社会福祉士 1名	
	正看護師 1名	
	准看護師 1名	
	栄養士 1名	
施設・設備 の概要	居室 30室	
	相談室	
	医務室	
	作業室	

念・基本方針

経営理念 「互譲互助」

設・事業所の特徴的な取組

法人の設立趣旨「経済的自立」と旧入所授産施設からの経験から生活介護の創作活動で就労継続支援事業所並みの工賃を支給しています。生活支援と創作活動の両立を目指して取り組んでいます。

さが福祉サービス評価の受審状況

評価実施期間	令和3年9月24日（契約日）～ 令和4年2月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

総評

特に評価の高い点

人事基準が明確化され、職員に周知されるとともに、毎年度当初に「キャリアパス要件」を明示した文書が交付されるなど総合的な人事管理が行われている。

利用者の一層の満足向上を目指し、利用者の自主組織である利用者互助会や家族会からの意見・要望の聴き取り、必要に応じて家族との懇談会を随時行い、職員会議やケース会議で論議し、支援の充実に努められている。

利用者自身が、体温・咳や頭痛の有無・食事の摂食状況・歯磨き・排便の状況等を健康管理カードに毎日記入し、自立した生活に繋げる取り組みがなされるなど、利用者の意思・主体性を尊重した日々の生活のための支援がなされている。

利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保に配慮し、言語や聴覚に障害のある利用者に対しては手話や筆記での支援、情緒不安定な方には時間や場所等の工夫など個別的な配慮がなされている。

改善を求められる点

中・長期計画は、具体的な成果や実施状況の評価を行うには十分と言えない。現在、中・長期計画の協議・検討が始められており、具体的な成果等や実施状況の評価できる中・長期計画が中・長期の収支計画と併せて作成されることを望みたい。

福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に係る実習生等の受け入れに関する規程や実習指導マニュアルが整備されていないのでその速やかな整備が望まれる。

ボランティアの受け入れに関する基本姿勢や受け入れについての手順、取扱いが明確にされていないので規程等を定め明確にされることを望みたい。

提供する福祉サービスの標準的な実施方法が適切に文書化されていないのでサービスマニュアルの作成とともに、その定期的な検証・見直しの仕組みについても併せて整備されたい。

さが福祉サービス評価結果に対する施設・事業所のコメント

昭和 63 年に知的障害者入所授産施設として開所して 33 年以上経過し、更に平成 24 年に障害者自立支援法に基づく新体系に移行してからは、身体に障害のある方も活動をされるようになり、めまぐるしく変わる制度改正で、将来像を見出せず、現在の設備でやり繰りしながら支援を行ってきました。ご指摘のとおり具体的な中・長期計画がなされていないと感じております。

現在法人外部の方にも委員に参画していただき、建設検討委員会を立上げ検討を進めており、ご指摘のとおり、中・長期計画が中・長期の収支計画と併せて作成していきたいと思っております。また、形式的ではなく、職員個々の長所を活かした支援を目指している反面、誰もが標準的な支援ができるマニュアルはなく、特に実習生やボランティアの方の受入体制においてはこうした整備は必要であったと感じております。今後検討をし、マニュアルの作成と定期的な見直しに取り組んでいきます。

さが福祉サービス評価結果

別紙の「さが福祉サービス評価結果」に記載している事項について公表する。